



2023 年 1 月 27 日

【地域創生 SDGs 官民連携の取組み】
松阪市立香肌小学校全学年を対象とした出前授業の実施について
～学校を核とした地域創生 SDGs～

株式会社百五銀行（頭取 杉浦 雅和）は、学校を核とした地域創生 SDGs ならびに金融教育の一環として松阪市立香肌小学校全学年（16 名）を対象とした授業に行員を派遣いたしますので下記のとおり、お知らせいたします。

本授業では、『銀行って、何するところ？』をテーマに、「地元・香肌峡に生息するオオサンショウウオ（主人公）が飯高地区でパン屋さんを開店する」ストーリーを当行独自で作成し、お金の流れ、SDGs と銀行の関係を小学生にもわかるように講義いたします。

なお、本件取組みにあたっては、三重県・三重県金融広報委員会とも連携しています。

当行は、今後も三重県のリーディングバンクとして、次世代を担う若者への教育を積極的に展開し、活力ある地域社会の実現に貢献するため、地域創生、SDGs、金融教育を推進してまいります。

記

（1）出前授業の概要

日 時	2023 年 2 月 20 日（月）13:15～14:00（45 分）
場 所	松阪市立香肌小学校（ https://www.kahada-es.com/ ） 三重県松阪市飯高町森 1810-2〔松阪 IC からの距離 約 50km（所要時間：1 時間強）〕
講 師	百五銀行経営企画部広報 SDGs 推進室・公務部
参加者	松阪市立香肌小学校 全学年 16 名
内 容	銀行を中心に、お金の流れ、SDGs と銀行の関係について講義を行います。単元の目標としては、以下 3 点となります。 1 銀行が何をするとところか理解する 2 世の中のお金の流れを理解する 3 SDGs とは何か、何をすれば良いかを理解する 当行は、地域と学校、行政、企業が連携し、学校を核とした地域創生 SDGs の取組みを応援しています。 子どもたちが、自らのキャリアのなかで、地域創生 SDGs を考えるきっかけになる講義を展開したいと考えています。

以 上